

優秀賞

○設計者

宮本 佳明

- 大阪府建築士会
- 宮本佳明建築設計事務所



○併用住宅（寺院庫裏）

ちゅうしんじ 澄心寺 庫裏

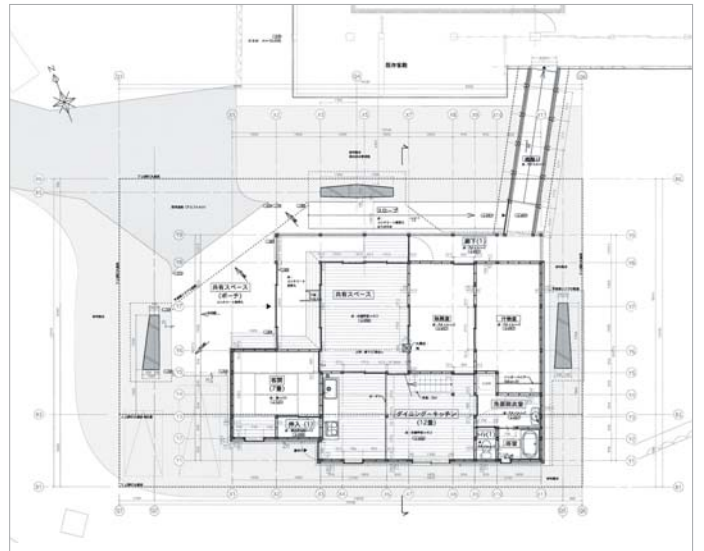
- 長野県上伊那郡箕輪町三日町

▶▶▶ 選評

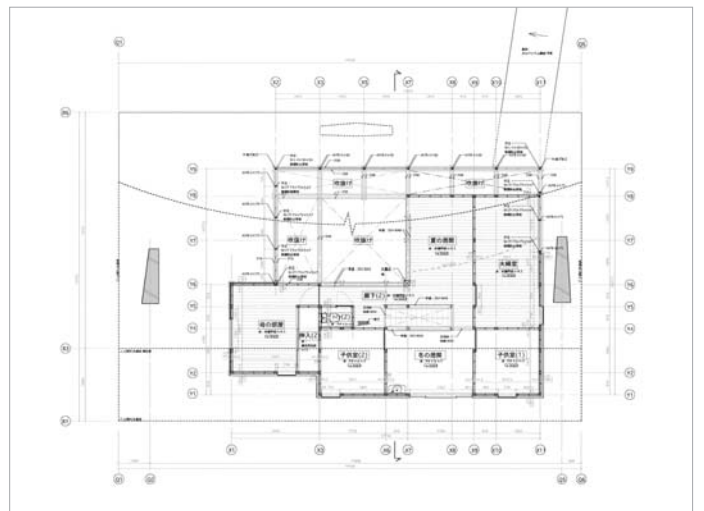
長野県伊那谷の山間に建つ曹洞宗の寺院「澄心寺」に増築された庫裏である。遠方から近づいていくと、2つの山に挟まれた谷間に、本殿と客殿の巨大な瓦屋根に並列するように、鉄筋コンクリート造の白い大屋根根が目に入ってくる。若い住職によれば、公開コンペによってこの案が選ばれた最大のポイントはこの大屋根根にあり、その単純明快な象徴性が、寺を支える檀家の心を捉えているのだという。

この大屋根根は、凹型に緩やかに湾曲する鉄筋コンクリート造スラブによって造られ、3本の鉄筋コンクリート造の巨大な壁柱によって支えられている。建物全体は、このインフラ的な屋根の下に、自立した木造軸組の庫裏を差し込むという、一種のSI（サポート／インフィル）的な構成によってつくられている。庫裏の内部は、縁側のような屋根下の空間から、土間を経て、住民が自由に使用するコモン空間へと連続している。住職の執務空間と住空間は、コモン空間から柔らかく仕切られ、2階にはプライベートな空間が置かれている。大屋根と木造部分との間には、住空間との間の緩衝空間的なロフトがつくれ、ダブルスキンの機能を果たしている。工事予算の制約のために、木造部分の空間構成やディテールが十分に詰められていない点が残念ではあるが、工事費の大部分を占めている大屋根根が、檀家と住職に全面的に支持されていることによって、その短所は完全に払拭されているように思われる。

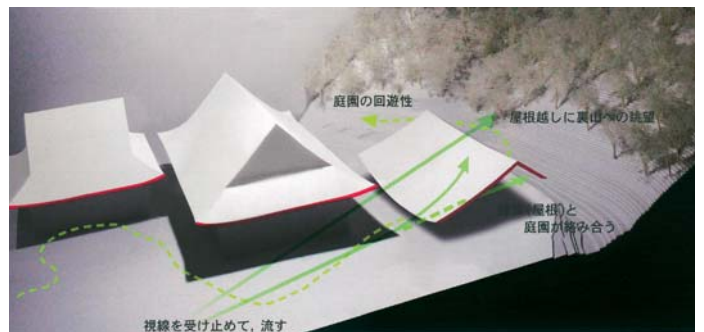
（難波和彦）



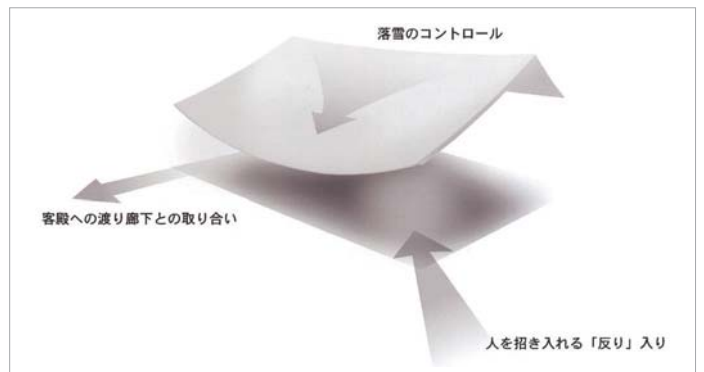
1階平面図



2階平面図



A



B



C

- A: 屋根による境内の再構成
- B: 機能に従う屋根形状
- C: 全景
- D: 庫裏内部
- E: 全景模型
- F: 100年永らえる鉄筋コンクリートの大屋根
- G: 自由に变化する木造フレーム

写真撮影：太田拓実事務所

- 構造・階数：木造、RC造、地上3階建
- 敷地面積：862.63m²
- 建築面積：243.42m²
- 延床面積：226.18m²
- 竣工：2009年11月30日



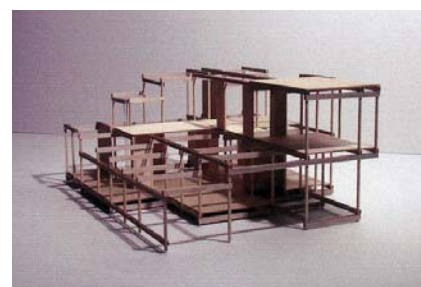
D



E



F



G